

理、工、教、人文学部から多数参加



次回は 10 月 8 日(水)昼 人文C406 で

マギル大学短期英語研修第 2 回説明会



茨城大学の学生向けに来年 2 月からカナダ・モントリオールのマギル大で開催される短期英語研修の第 2 回説明会が人文学部で 23 日昼開催された。留学経験は、就職活動で有利になるとの見方もあって説明会には、理学部、工学部、教育学部、人文学部などから多数の学生が参加した。

冒頭、トロント出身のシュミット先生が、ホームステイをしながら英語を学ぶ同研修の概要について説明した。シュミット先生は、講義は、カナダの文化の学習と日本人の最大の弱点である発音の矯正の授業で構成される午前の部と、放送局や名所旧跡などを世話役のマギル大学生と訪問し、生きた英語を学ぶ午後の部とで構成されると解説。4 週間、一般家庭に宿泊し、生活しながら英語を学ぶホームステイの留意点なども言及した。

シュミット先生は、マイナス 20 度程度までの冷え込みが普通のモントリオールの冬の訪問では、「防寒対策が最重要課題」と力説した。

恒例の研修参加の OB 学生らから体験談を聞くコーナーでは、「最初は分からなかった英語の



リスニングも 2-3 週間目から分かるようになった」、「シャワーの時間が 5 分以内と決められ困った」、「バス通学で、手厚い車内の案内がないので乗り過ごした」「日本食を持って行った方が良い」などのアドバイスが聞かれた。

次回の説明会は、10 月 8 日（水）昼、人文棟 C406 で。参加の締め切りは、10 月 31 日（金）。問い合わせは、シュミット教員（内線 8463）、古賀教員（同 8448）、メールでも可。

（了）